

1183 球面微分  $\frac{1}{2}$  ナル函数ニ就キテ

春 木 博

今、 $f(z)$  が  $|z| \leq 1$  で一價正則ナル函数トシ、且ツ  $|z|=1$  上ノ任意ノ点  $z=z_0$  ニ於ケル球面微分  $\frac{|f'(z_0)|}{1+|f(z_0)|^2}$  ガ 常ニ、 $\frac{1}{2}$  ナリトスル。 更ニ  $f(z)$  = 條件  $f(1)=1$ ,  $f(-1)=-1$  ナル條件ヲツケル。

此時  $f(z)$  ハ如何ナル函数トナルカ?

結果ハカ、ル函数ハ  $f(z)=z$ ,  $f(z)=\frac{1+i\alpha z}{z+i\alpha}$  ( $|\alpha|>1$ )  
 $\alpha$ ハ実数  
 ナルニツノ函数ニ限ル。以下ニ之ヲ証明シヨウ。

(証明) 今  $f(1)=1$ ,  $f(-1)=-1$  ノ  $w$  平面上ノ像点ヲ夫々  $A$  (1ヲアラハス),  $B$  (-1ヲアラハス) トシ, Riemann 球面上ノ像点ヲ夫々  $A^*$ ,  $B^*$  トシ, 更ニ  $z$  平面上ノ半円  $z=e^{i\theta}$  ( $0 \leq \theta \leq \pi$ ) ノ  $w$  平面上ノ像曲線ヲ  $C$ , 又 Riemann 球面上ノ像曲線ヲ  $K$  トスル。

次ニ 
$$\int_0^\pi \frac{|f'(z)|}{1+|f(z)|^2} d\theta$$
 ナル積分ヲ考ヘレバ (但シ  $z=e^{i\theta}$ )

假定ニヨリ 
$$\int_0^\pi \frac{|f'(z)|}{1+|f(z)|^2} d\theta = \frac{1}{2} \pi \quad (z=e^{i\theta})$$

然ルニ 
$$\int_0^\pi \frac{|f'(z)|}{1+|f(z)|^2} d\theta$$
 ハ Riemann 球面上

$A^*$  (複素数1ヲアラハス),  $B^*$  (複素数-1ヲアラハス)

ヲ結ブ曲線ノ長さ  $\ell(K)$  ヲ与ヘル。

シカモ  $K$  ハ球面上直径ノ兩端  $A^*$ ,  $B^*$  ヲ結ブ曲線デア

ルカラ

$$K \text{ノ長さ} = \ell(K) \geq \frac{1}{2}\pi$$

等号が成立スルノハ大円ノ半分ノ弧即チ半円ノ時ニ限ルカラ  
ラ $K$ ハ実ハ半円ナルコトガ判ツタ。従ツテ又、 $\odot$ ハ $A, B$   
ヲ通ル円ノ弧トナル。(必ズシモ半円トハナラナイ)

今度ハ $Z$ 平面上実軸ノ下ノ半円、 $Z = e^{i\theta}$  ( $\pi \leq \theta \leq 2\pi$ )  
ノ $f(Z)$ ニヨル *Riemann* 球面上及ビ $z$ 平面上ノ写像曲  
線ヲ考ヘレバ同様ニシテ、夫々半円、円ノ弧トナル。假定  
ヲ使ヘバ  $|Z|=1$ 上デハ $f'(Z)$ キ $0$ ナルコトガ判ルカラ、  
結局  $|Z|=1$ ノ $f(Z)$ ニヨル *Riemann* 球面上ノ写像  
曲線ハ大円トナリ、周ハ一対一ニ對應スル。

従ツテ又、 $f(Z)$ ニヨル  $|Z|=1$ ノ $W$ 平面上ノ写像曲線  
ハ、 $A, B$ ヲ通ル円デアル。併シ之ハ必ズシモ単位円デハ  
ナイ。

単位円デナイ時ハ之ヲ単位円ニスルタメ、 $\alpha$ ヲ $|\alpha| > 1$ ナ  
ル適当ノ実数トスルトキ、*Riemann* 球面ノ廻轉  $\frac{1-i\alpha z}{z-i\alpha}$   
ヲ行ヘバ単位円ニナホル。

次ニ議論ヲニツノ場合ニ別ケテ、進メヨウ。

(第一ノ場合)  $f(Z)$ ニヨル  $|Z|=1$ ノ $W$ 平面上ノ像曲線  
ガ始メカラ単位円ナルトキ

此ノ時ハ結局  $f(Z)=Z$ トナル。

(第二ノ場合)  $f(Z)$ ニヨル  $|Z|=1$ ノ $W$ 平面ヘノ像曲線  
ガ単位円デナイトキ。

此ノ時ハ変換  $g(z) = \frac{1-i\alpha f(z)}{f(z)-i\alpha}$  ( $|\alpha| > 1$ )  
 $\alpha$ ハ実数

ニ依リ  $|z|=1$  ,  $g(z)$  = ヨル  $z$  平面上ノ像曲線ハ單位円トナル。

$\alpha$ ノ定メ方カラ容易ニ判ルヤウニ、 $f(z)$  - ( $\alpha$ キ0ナル故  
 $g(z)$ ハ勿論  $|z| \leq 1$  デ正則デ、シカモ  $|z|=1$  ナルトキハ  
 $|g(z)|=1$  デアル。

之ヨリ結局  $g(z) = z$

即チ  $f(z) = \frac{1+i\alpha z}{z+i\alpha}$  ( $\alpha$ ハ  $|\alpha| > 1$  ナル実数)

勿論之ハ与ヘラレタ條件ニ満足スルカラ

結局求ムル函数ハ

$$\text{即チ} \frac{1+i\alpha z}{z+i\alpha} \quad (\alpha \text{ハ} |\alpha| > 1 \text{ ナル実数})$$

ノニツニ限ルコトガ判ツタ。

-(完)-